

2026年9月期第3四半期 決算説明資料



株式会社 F C E
2026年8月10日
東証スタンダード
証券コード：9564



会社概要

会社名 | 株式会社 FCE 証券コード：9564

設立 | 2017年4月21日
グループ創業2004年2月19日

従業員数 | 293名 ※ 2026年8月1日現在

Purpose

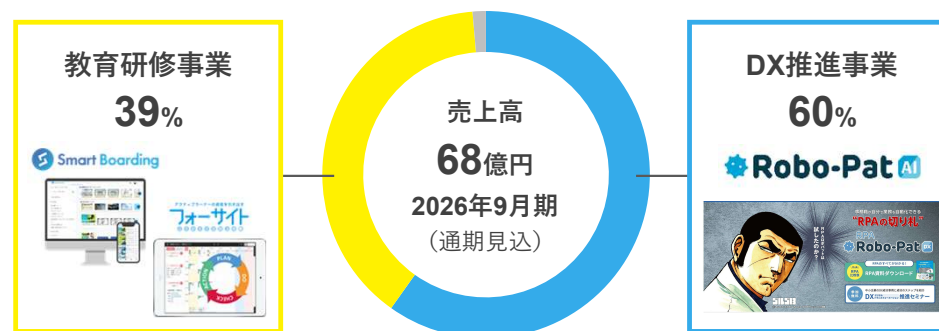
チャレンジあふれる未来をつくる

Mission

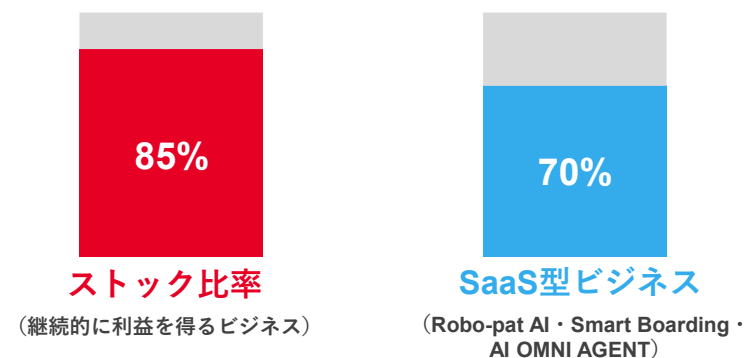


人的資本の最大化に貢献する

主要な事業（事業セグメント）



売上構成（2026年9月期見込 売上高68.0億円の割合）





エグゼクティブ・サマリー①

2026年9月期第3四半期業績

売上高

通期予想6,800百万円
(進捗率76.1%)

5,171百万円 (前年比+14.0%) 

経常利益

通期予想1,160百万円
(進捗率96.7%)

1,121百万円 (前年比+18.6%) 

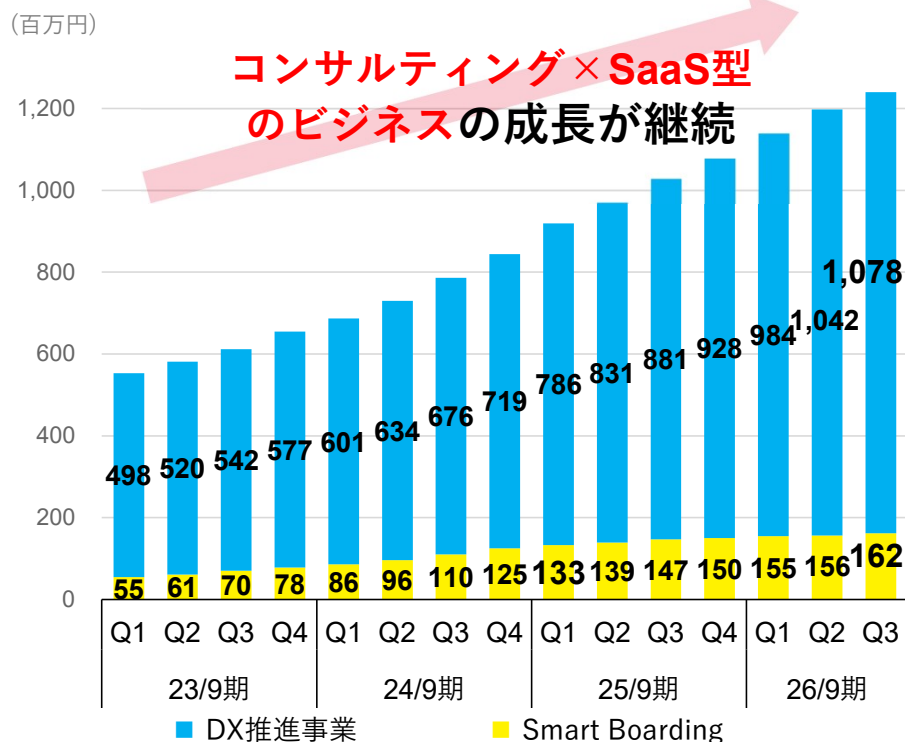
トピックス

- ▶ CPO(最高哲学責任者)に馬場啓介氏が就任 (2026年5月27日開示)
- ▶ AI関連事業の子会社設立 (2026年7月13日開示)
- ▶ 業績予想修正 (上方修正) (2026年8月10日開示)
- ▶ 配当予想の見直し (増配) (2026年8月10日開示)
- ▶ 株主優待の内容を決定 (一部内容を拡充) (2026年8月10日開示)

エグゼクティブ・サマリー②

RPAを活用したDX支援SaaS ※1 「ロボパットAI」 及び社員教育のSaaS「Smart Boarding」を提供する
コンサルティングとSaaS型のハイブリッドなビジネスが順調な成長を継続

SaaS型ビジネス四半期推移



DX推進事業 売上高

▶ 四半期売上高 (26/9期Q3)
1,078 百万円 **+22.4%** 前年同期比

▶ ハイライト

- ✓ 若手社員の早期育成・活躍の仕組み化
- ✓ AI機能搭載により利便性向上、チャーンレートは低位維持(1%台継続)
- ✓ 導入社数も順調に増加 (2026年6月末時点で2,134社に到達)
- ✓ 生成AIの普及が市場拡大の追い風

Smart Boarding 売上高

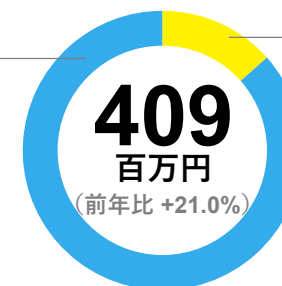
▶ 四半期売上高 (26/9期Q3)
162 百万円 **+10.3%** 前年同期比

▶ ハイライト

- ✓ チャーンレートは引き続き低位水準を維持
- ✓ 顧客からご要望の多い新しいコンテンツ・学習コースの追加やAIロープレ機能等の機能強化を推進予定
- ✓ Smart Boardingは直販への注力により、1社当たり売上 (ARPU) が向上傾向

SaaS型ビジネスMRR ※2

Robo-Pat AI
354 百万円



Smart Boarding
55 百万円

※1: SaaS (Software as a Service) 契約が継続する限り毎月定額の収益になるサブスクリプションモデル

※2: MRR (Monthly Recurring Revenue) 2026年9月期第3四半期末時点の毎月繰り返し発生する売上金額



Agenda

- 01 2026年9月期第3四半期（4月-6月）トピックス
- 02 2026年9月期第3四半期業績
- 03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業
- 04 事業および成長戦略：教育研修事業
- Appendix

CPO就任／AI関連事業の子会社設立

CPO(最高哲学責任者)に馬場啓介氏が就任

企業理念（Purpose/Philosophy/Values）のさらなる浸透と、それを起点とした経営体制およびコーチング事業の強化を目的に、コーチング・人財育成分野で豊富な実績を持つ馬場啓介氏をCPO（最高哲学責任者）として選任。



CPO：Chief Philosophy Officer／Chief Purpose Officer を意味し、当社においては、Purpose、Philosophy およびValuesを、経営方針、組織運営、事業活動、社内外コミュニケーションに反映させるための助言・支援を担う職位

リリース内容：

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/c921afde/53cb/441e/9848/bba1d6964d58/140120260527550323.pdf>

AI関連事業の子会社設立の目的・概要

① 迅速な意思決定と連携機会の最大化

- ・ AI分野における迅速・柔軟な意思決定と機動力の確保
- ・ 独自窓口による複数AI事業者との迅速な連携体制の構築



② スピード感を持った新規事業の立ち上げ

- ・ 柔軟な手法によるスピード感のある運営
- ・ 専門的・戦略的な事業運営による新規事業の早期立上げとグループ価値向上



■名称：株式会社F C E A I x（エーアイエックス）

■資本金： 9 9 0 万円

■設立： 2026 年10 月1 日（予定）

■株主及び持株比率：株式会社F C E 100%

リリース内容：

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/5a133a26/4b59/47c8/a7f9/32b5a219a2e0/140120260713592270.pdf>



2026年9月期 業績予想の修正

保有株式の一部売却による特別利益の計上や再度税金計算を行った結果、当初計画を上回って着地する見込みとなったため、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を上方修正

単位：百万円	前々回 (2025/11/13) 発表 2026年9月期	前回 (2026/2/12) 発表 2026年9月期	今回 (2026/8/10) 発表 2026年9月期	前回(2026/2/12) 発表比		(参考) 2025年9月期	前年度対比	
	予想	予想	予想	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	6,800	6,800	6,800	-	-	6,099	+701	+11.5%
営業利益	1,130	1,130	1,130	-	-	912	+217	+23.9%
経常利益	1,160	1,160	1,160	-	-	925	+234	+25.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	840	865	910	+45	+5.2%	662	+247	+37.3%
1株当たり 当期純利益(円)	38.13	39.21	41.23	+2.02	+5.2%	30.17	+11.06	+36.7%



配当予想の見直し（増配）（2026年8月10日開示）

業績の進捗を踏まえて期末配当予想を見直し、増配を予定。

配当予想の見直し（増配）

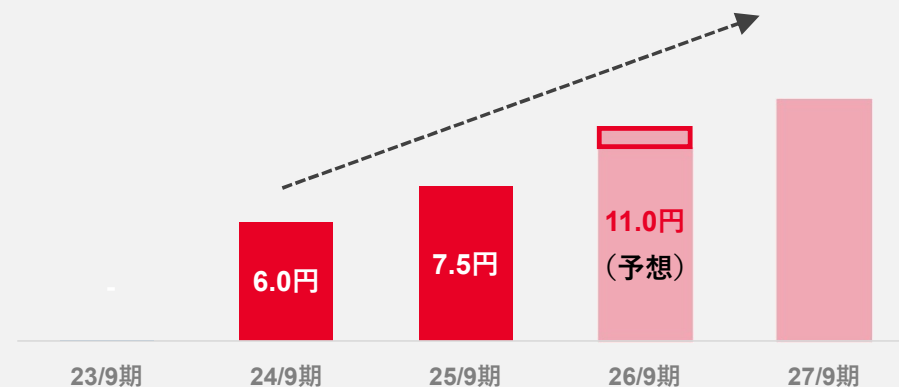
業績の進捗を踏まえ、株主の皆様への利益還元をより充実させるべく、**1.0円増配し、期末配当予想を10.0円から11.0円へ修正**。

これにより年間配当金は、**前年比+46.7 %**となる**11.0円**を予定。

単位：円	第2四半期末	期末	合計
前回予想 2025年11月13日公表	0.00	10.00	10.00
今回修正予想 2026年8月10日公表	0.00	11.00	11.00
前期実績 (2025年9月期実績)	0.00	7.50	7.50

配当方針と実績

当社の配当方針は、**期末当期純利益の25%程度**を目安とする配当性向を基準に、株主の皆様へ継続的な利益還元を行うことを基本としております。





株主優待の内容を決定（内容を一部拡充）（2026年8月10日開示）

2026年9月30日を基準日とする株主優待は、内容を一部変更（拡充）して継続。

■対象：

2026年9月末日の株主名簿に記載された当社株式1単元（100株）以上を保有する株主様

■優待内容：

①1,000円分のデジタルギフト®を贈呈

②保有期間半年以上の株主様へ1,000円分のデジタルギフト®を追加で贈呈 ※特別優待



	保有株式数	保有期間	優待内容
①	100株（1単元）以上	-	1,000 円分のデジタルギフト®を贈呈
②	100株（1単元）以上	半年以上	1,000 円分のデジタルギフト®を追加で贈呈 ①と合わせて合計2,000 円分のデジタルギフト®を贈呈

【デジタルギフト®交換先 ※予定】

Amazonギフトカード／QUOカードPay／PayPayマネーライト／dポイント／au PAY ギフトカード／Visa eギフト vanilla／図書カードNEXT／Uber Taxiギフトカード／Uber Eatsギフトカード／Google Play ギフトコードほか

■内容を一部拡充の理由：

当期は株主還元を強化（上乘せ）して実施する方針といたしました。

2025年8月の上場来高値更新後も、市場の変動に左右されず、**半年以上の長期にわたり**当社の成長可能性を信じ支え続けてくださった株主の皆様へ感謝の意を表し、**今回限りの「特別優待」を実施**することといたしました。



Agenda

- 01 2026年9月期第3四半期（4月-6月）トピックス
- 02 2026年9月期第3四半期業績
- 03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業
- 04 事業および成長戦略：教育研修事業
- Appendix

2026年9月期 第3四半期 | 決算概要

売上高

第3四半期の売上高はDX推進事業・教育研修事業ともに増収となり、前年同期比で14.0%の増収

経常利益

第3四半期の経常利益は主にSaaS型ビジネスの増収の影響により、前年同期比で18.6%の増益

通期予想

売上高増やストック型ビジネスの積み上がりによる増収により、通期の売上高と利益の予想達成を見込む

単位：百万円	2025年9月期		2026年9月期 第3四半期				2026年9月期 通期	
	3Q (4-6月)	3Q (累計)	3Q (4-6月)	前年同期比 (3か月)	3Q (累計)	前年同期比 (9か月)	通期予想 (2026/8/10発表)	進捗率
売上高	1,524	4,537	1,737	+212 (+14.0%)	5,171	+634 (+14.0%)	6,800	76.1%
営業利益	274	923	349	+75 (+27.6%)	1,092	+169 (+18.3%)	1,130	96.7%
経常利益	279	946	358	+79 (+28.3%)	1,121	+175 (+18.6%)	1,160	96.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	191	648	258	+67(+35.2%)	798	+150 (+23.3%)	910	87.8%
EBITDA※	297	988	379	+82(+27.7%)	1,172	+183 (+18.6%)	1,203	-
経常利益率	18.3%	20.9%	20.6%	+2.3%pts	21.7%	+0.8%pts	17.1%	-

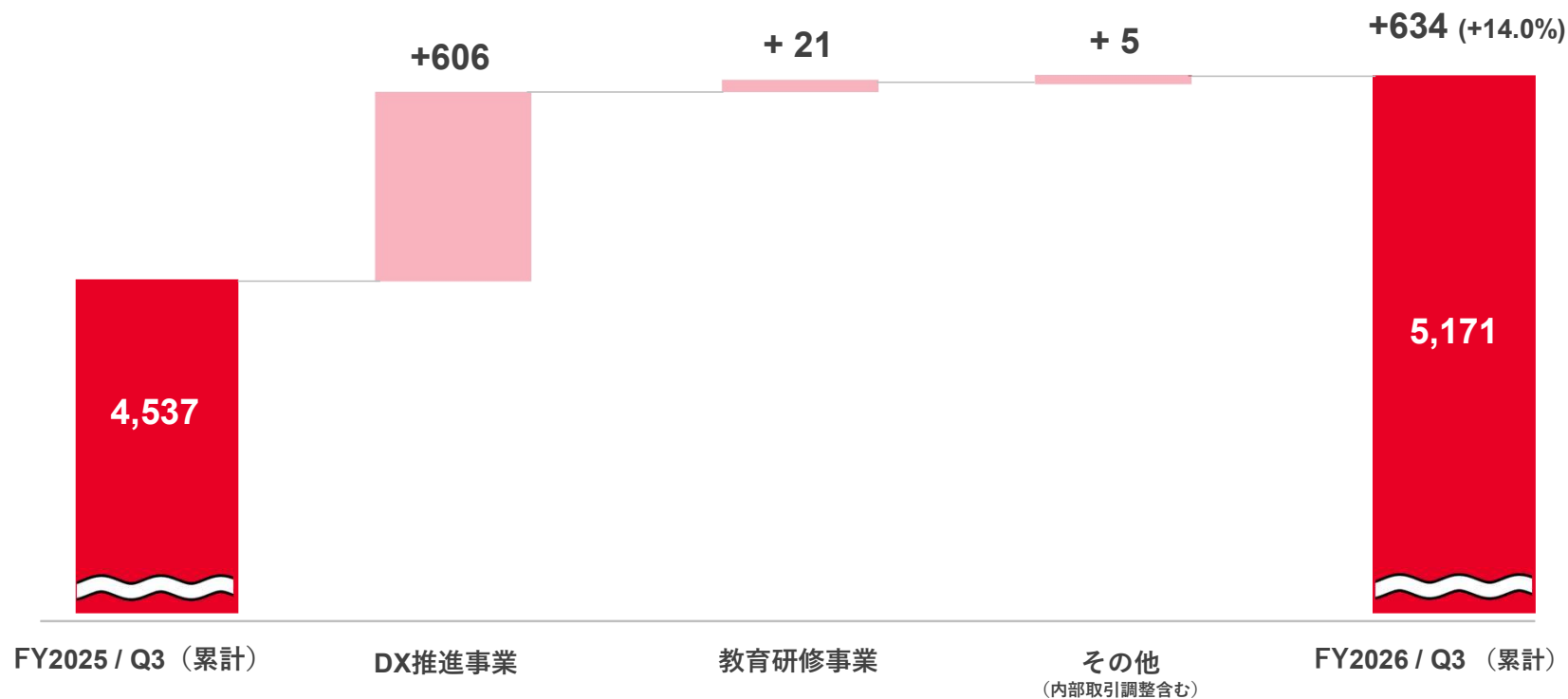
単位：百万円（百万円未満切捨て）

※ EBITDA=営業利益+償却費（減価償却費+のれん償却+保証金償却+長期前払償却）

2026年9月期 第3四半期 | 売上高

主にDX推進事業(ロボパットAI) が好調に推移
教育研修事業は学校向け商材や研修事業の顧客単価向上により増収で着地

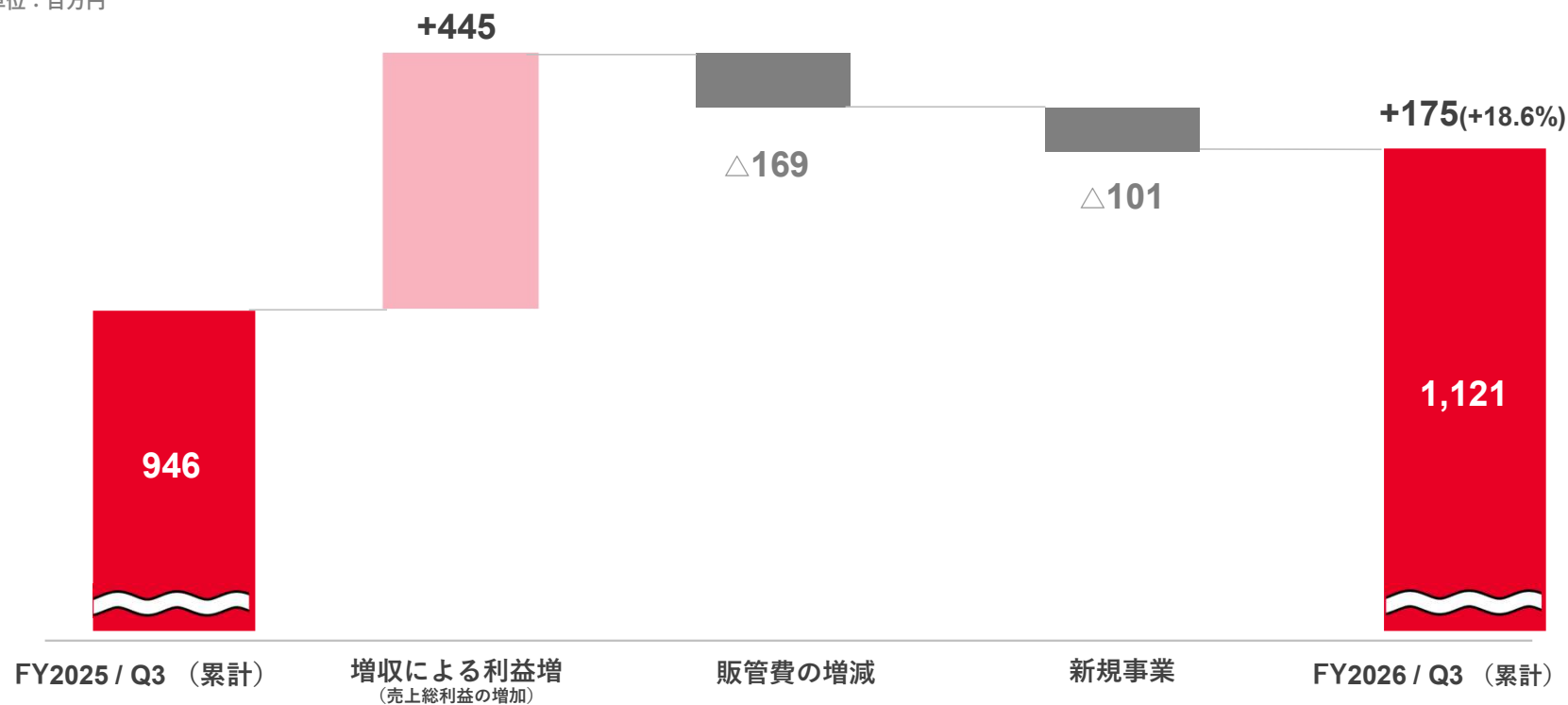
単位：百万円



2026年9月期 第3四半期 | 経常利益

主に増収による利益増により、経常利益全体では増益での着地
販管費の増加は主に新規事業への投資、人員増、広告宣伝・販促・業務委託料などが挙げられる

単位：百万円





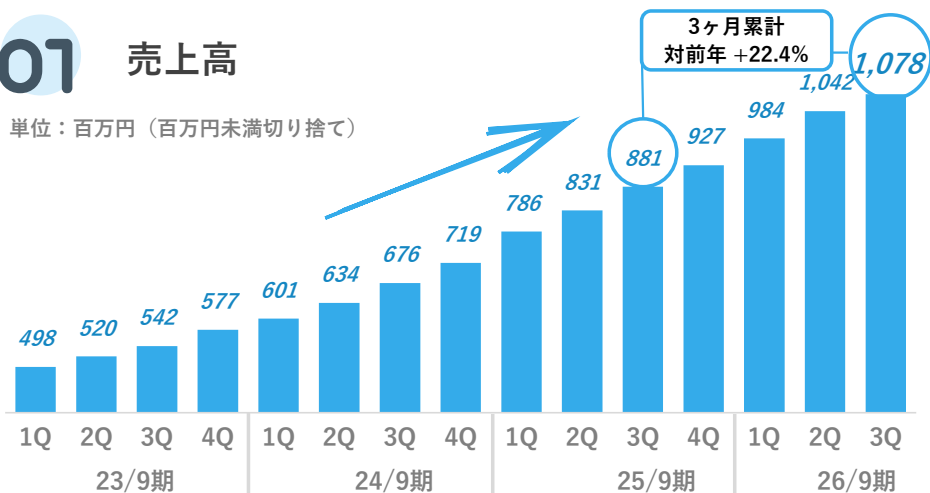
Agenda

- 01 2026年9月期第3四半期（4月-6月）トピックス
- 02 2026年9月期第3四半期業績
- 03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業
- 04 事業および成長戦略：教育研修事業
- Appendix

DX推進事業 | 業績と主要KPI

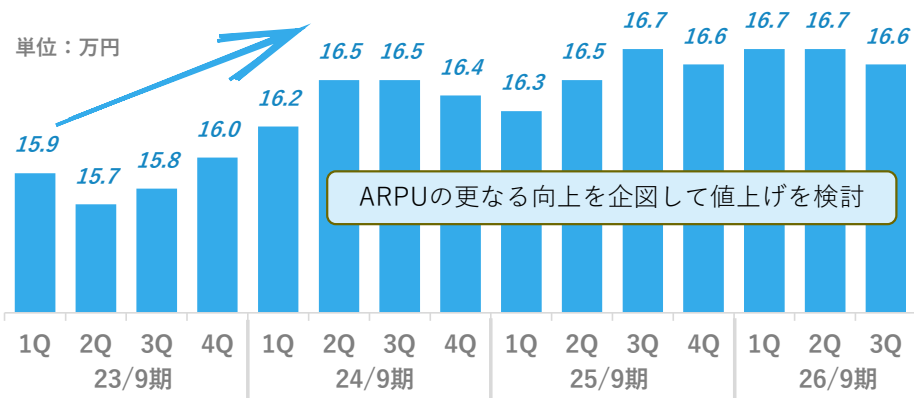
01 売上高

単位：百万円（百万円未満切り捨て）



03 ARPU (※1)

単位：万円

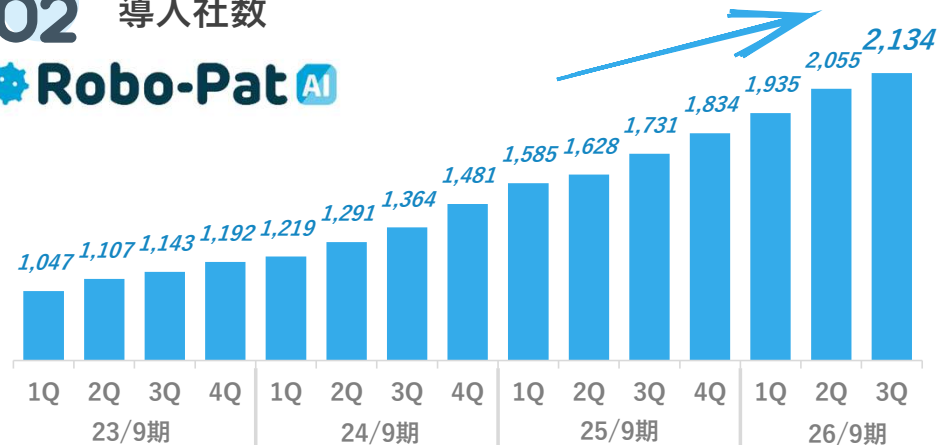


02 導入社数

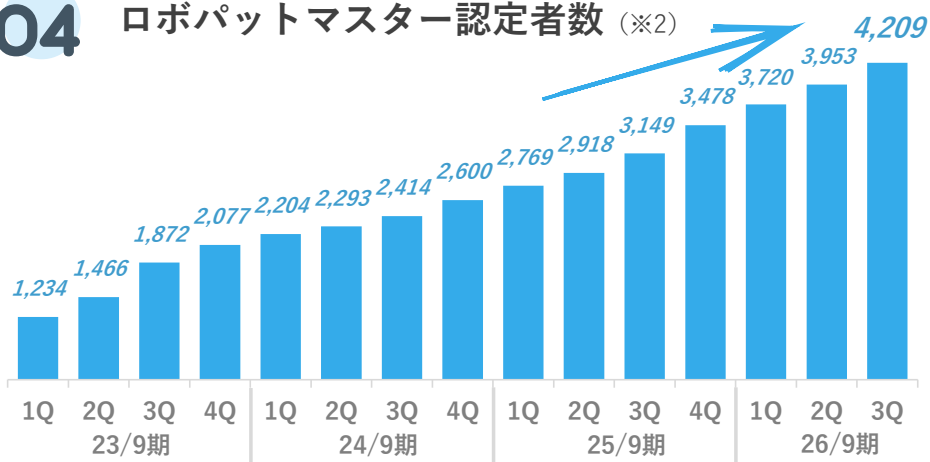
Robo-Pat AI

チャーンレート 1%台

98%以上が
継続



04 ロボパットマスター認定者数 (※2)





DX推進事業

「ロボパットAI」

※2026年3月2日より「RPAロボパットDX」
から名称変更



RPA(Robotic Process Automation) × AI機能

ロボパットAIの収益構造

売上	導入社数	×	平均単価 (月額)
原価	開発協力先への ライセンス料	+	代理店への 販売フィー

※ 平均単価(月額) = フル機能版と実行専用版の加重平均

ライセンスの種類

フル機能版

ロボットの動作シナリオを作成登録し、
実際に作業可能

+

実行専用版

フル機能版ライセンスのシナリオは
別のPCで実行可能です。

**導入サポート
コンサルティング**

無料

ロボパットAIの特長

商品力



- 現場の業務担当者が
自分でロボットを作成できる
- AI機能追加で
利便性向上と自動化領域拡大



コンサルティング力



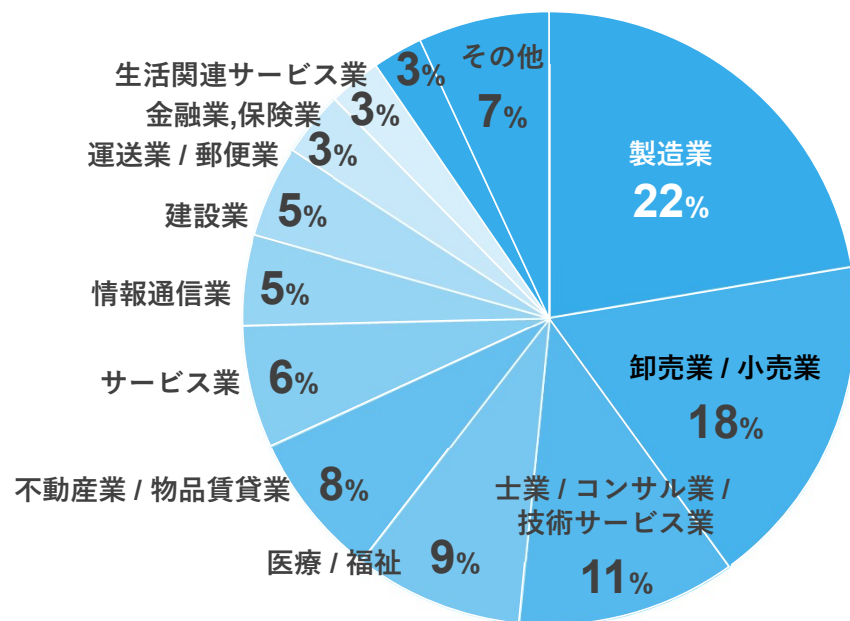
- DXを推進する人を育てる
導入から活用・定着まで ワンストップでサポート
- 人が育つ組織を作る
豊富な導入・定着実績で伴走型支援



「ロボパットAI」導入状況

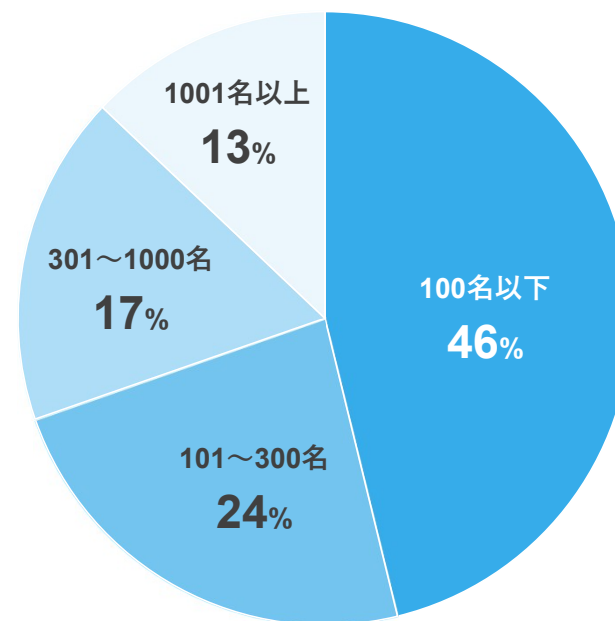
ITリテラシー・業種・規模を問わず、様々な企業が利用中

ロボパットAI導入企業業種別割合



業種、業界を問わず多岐に導入

ロボパットAI導入企業規模別割合



企業規模を問わず導入可能

(従業員300人未満で7割を占める)

「ロボパットAI」 事業拡大戦略の進捗

パートナー制度の拡大や同業種でのクライアント紹介など、新たな事業拡大機会を創出

業界の業務課題を解決・環境づくりを支援する提携事例



提携先

※ロゴ掲載企業は一部です（順不同）

金融機関



鹿児島銀行
(地方銀行)

プラットフォーム

Eストアー Eストアー
ショップサーブ (ECサイト構築
プラットフォーム)

企業



リンクアンド
モチベーション
(資本業務提携)

BizRobo! オープン
(業務提携)

様々なルートから「ロボパットAI」の情報提供を展開中



「ロボパットAI」のAI機能強化

～より簡単に、よりスピーディーに業務自動化を実現～

AI文字入力アシスト (AI OCR機能)

レイアウトやフォーマットが統一されていない帳票やデータから、必要な情報をAIが自動で抽出し、各種システムへ入力をする機能

< 利用例 >

経理部門：

多様な請求書のAI自動読取と、請求管理システム入力の効率化

営業事務部門：

異なる申込書のAI情報抽出と、顧客管理システム入力の省力化



「従来のOCRでは読み取りが困難で手入力していたタイムカード処理を完全に自動化できた」

「日英混在の多様なインボイスを自動で日本語に統一してデータ化でき、精度とスピードが飛躍的に向上できた」



AIアドバイザー

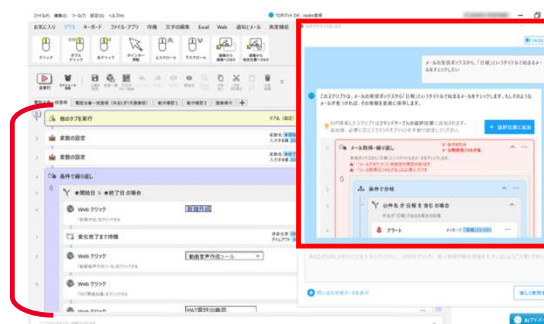
業務を自動化するスクリプト作成のAIサポート機能

- ✓ 作成ヒントの提示
- ✓ スクリプトの要約
- ✓ エラーの解説

初めての方でもスムーズにロボット作成が可能となり、現場のDX推進をより手軽にします



スクリプト
を作成



作成ヒントや
エラーを解説

PKSHA Technology社（東証プライム：3993）と
新シリーズ「ロボパットAI Agent Studio」共同開発、提供予定（詳細は後日発表予定）

AI関連事業 | 概要



AIエージェント事業



AI研修・コンサルティング

「AIリスクマネジメント研修」の提供

「AI組織活用研修・コンサルティング」の提供



AIコーチング



FCE
Future Created by Entrepreneurs



COACH A Co., Ltd.

当社の人財育成ノウハウに
AIコーチングの開発・活用の知見を融合



その他

AIに特化した社内ベンチャー：
株式会社 F C E A I x（エーアイエックス）

業務提携：
AIオーケストレーションツール「Hellas」



「AI OMNI AGENT」 (エーアイ オムニ エージェント)

複数のLLM※を統合し、業務を自動化する“AIエージェント”が現場で動くことで、企業の生産性を進化させるAIプラットフォームサービス

AI OMNI AGENTの収益構造



AI OMNI AGENTの特長

コンサルティング会社が提供する「カンタン」AIエージェント



簡単につくれる

自然言語で誰でも簡単に
エージェントを作成可能



高精度

業界最高水準の精度で
日本語を正確に読取可能



セキュリティ

AI側に記録を残さない
安全なセキュリティ



成果につなげる
伴走支援

社員教育や組織風土づくり
まで幅広く支援が可能



「AI OMNI AGENT」の進捗



マーケティング



初回訪問・提案



有償トライアル



本契約



- 定期セミナー開催
- 展示会出展

組織の成果が上がる
AIエージェント
活用法セミナーを開催中



- 生産性向上ニーズの把握
- 業種別に特化した「活用事例100選」を提供

AIエージェント以外の
生産性向上の手段として
「ロボパットAI」の提案

コンサルタントが付き、
実際に業務で使える
エージェントと一緒に作成

AIエージェント以外の
生産性向上の手段として
「ロボパットAI」の提案

コンサルティングサポート
(活用・定着支援)

AIエージェント以外の
生産性向上の手段として
「ロボパットAI」の提案

 **Robo-Pat AI**

RPA × AI
定型業務の自動化



AI関連事業のトピックス

AIオーケストレーションツール「Hellas」を提供する株式会社Crestioと業務提携契約

「Hellas」は、開発の専門知識がない非エンジニアの方でも、日本語で依頼するだけで開発業務を進めることができるツール

Hellasの仕組み



当社の商品ラインナップに加えることで、お客様の規模や課題に合わせた最適なAIソリューションの提案力をさらに強化

リリース内容：

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/b8d5c7dc/f489/49ce/b224/6ac6e820bd97/140120260727599752.pdf>

「AIリスクマネジメント研修」「AI組織活用研修」提供を開始



AIの特性理解・セキュリティリスク対策などを4時間のプログラムで提供



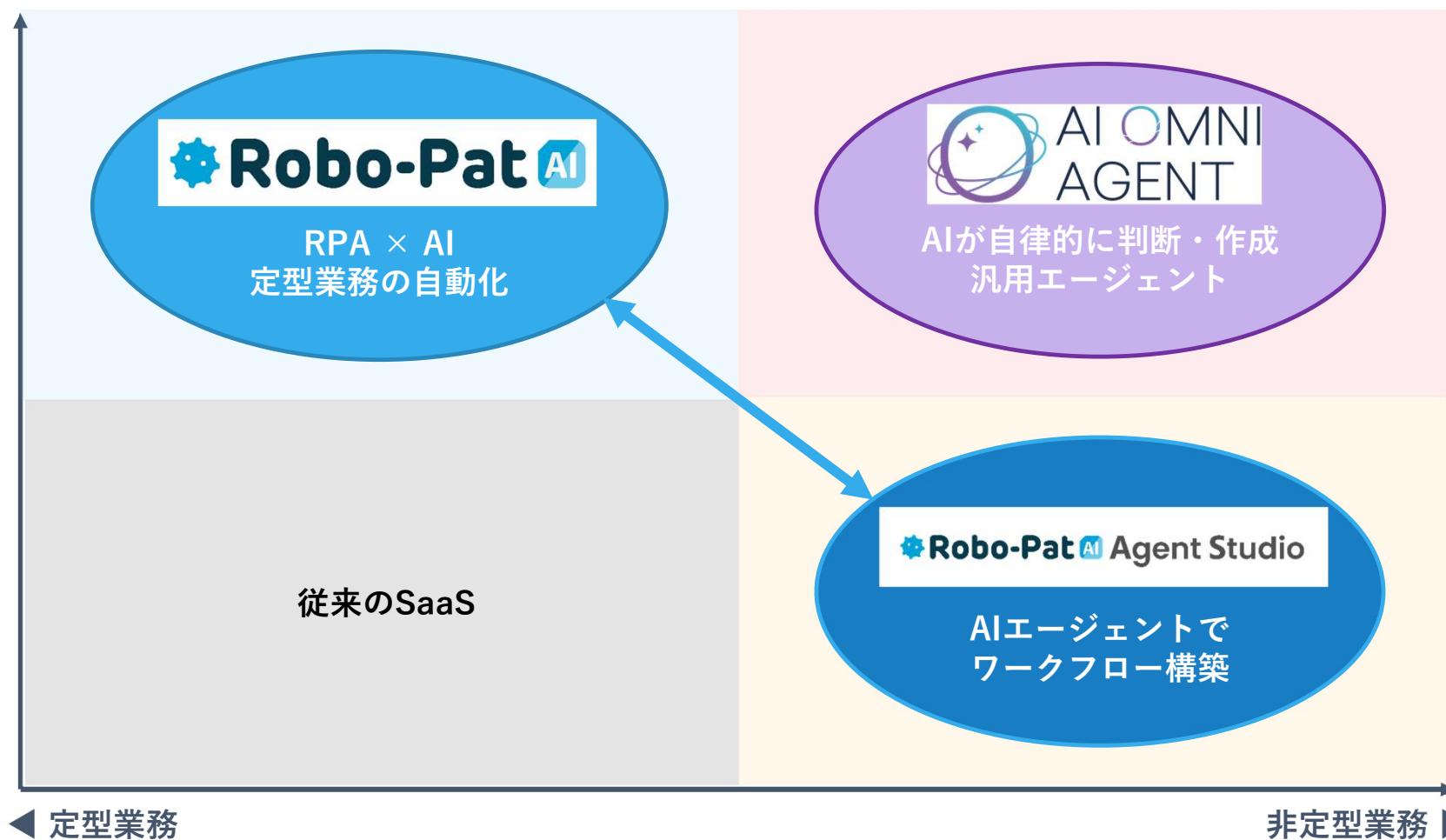
AIの組織活用を研修・コンサルティング

DX推進事業 | 3製品のポジショニングマップ

● ロボパットAI ● ロボパットAI Agent Studio ● AI OMNI AGENT

自由作成▲

アプリ▼





Agenda

- 01 2026年9月期第3四半期（4月-6月）トピックス
- 02 2026年9月期第3四半期業績
- 03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業
- 04 事業および成長戦略：教育研修事業
- Appendix

研修事業 | 概要

企業のありたい姿を実現するために、定額制オンライントレーニングシステムおよび研修・コンサルティングを提供

定額制オンライントレーニングシステム



チャーンレート

1%台※

累計アカウント数
120,000突破

人事が選ぶ導入したい
オンライン社員研修
No.1

研修・コンサルティング

7つの習慣® 研修
Business Ownership

7つの習慣
Self Coaching

新入社員研修
Change

インハウス研修（オーダーメイド研修） / コンサルティング



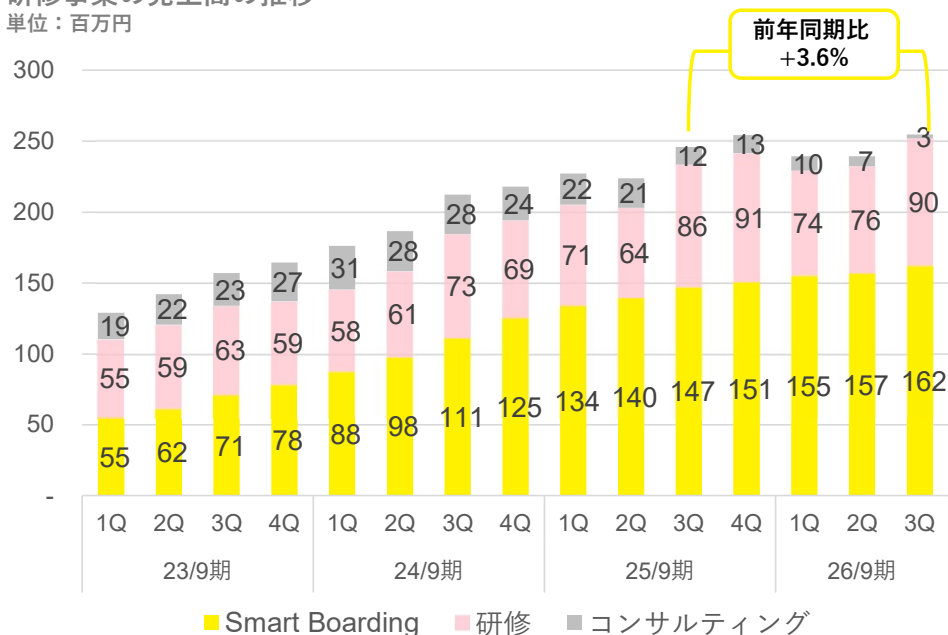


研修事業の業績と今後の方針

- Smart Boarding事業は研修事業との相乗効果を企図し、1社あたりの**ARPA(*)**の向上を図ることに方針転換
- 経営課題の解決に向けた新研修コンテンツの提供にも注力

研修事業の売上高の推移

単位：百万円



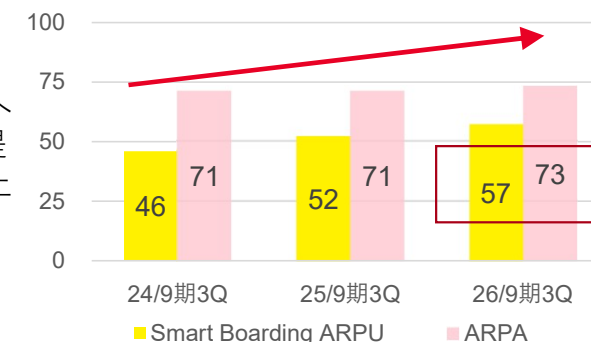
コンサルティングが減少傾向にある一方で、研修およびSmart Boardingが伸長。

これは、戦略的に属人性を排したストック型ビジネスへのシフトが進展していることを意味する。

▶ ARPAの向上

Smart Boarding導入顧客企業へ人財育成や組織作りの研修を提案し、1社あたりのARPAの向上を目指す。

単位：千円 ※12カ月移動平均



▶ 新研修コンテンツの提供に注力

レジリエンス(心の回復力)を鍛える企業向けレジリエンス研修「レスル®」のアンバサダーに、本田圭佑氏が就任。販路拡大に向け、販売パートナー企業を募集開始。



リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000376.000029370.html>

(*) Average Revenue Per Account (1アカウントあたりの平均売上)

研修事業のトピックス

Smart Boardingに 「AIロープレ機能」を搭載予定

実践力を高めるアウトプットの環境をさらに強化。
人と組織の行動変容を成果につなげる、人財育成・組織開発の仕組みを提供

AIロープレ機能で実現できる 3 つの価値



何度でも
実践練習が可能



シームレスな
連携



客観的な即時
フィードバック

リリース内容：

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/c5e89a25/04e5/4e37/b18b/df2603d50e11/140120260511521807.pdf>

業務提携



当社の人財育成・社員教育事業と、コーチ・エイ社※1の知見を融合させ、企業の「伴走力（コーチング力）」強化を支援

※1 株式会社コーチ・エイ（証券コード：9339）：創業以来、約30年にわたりパイオニアとして日本におけるコーチングの普及・拡大に貢献している企業

リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000426.000029370.html>

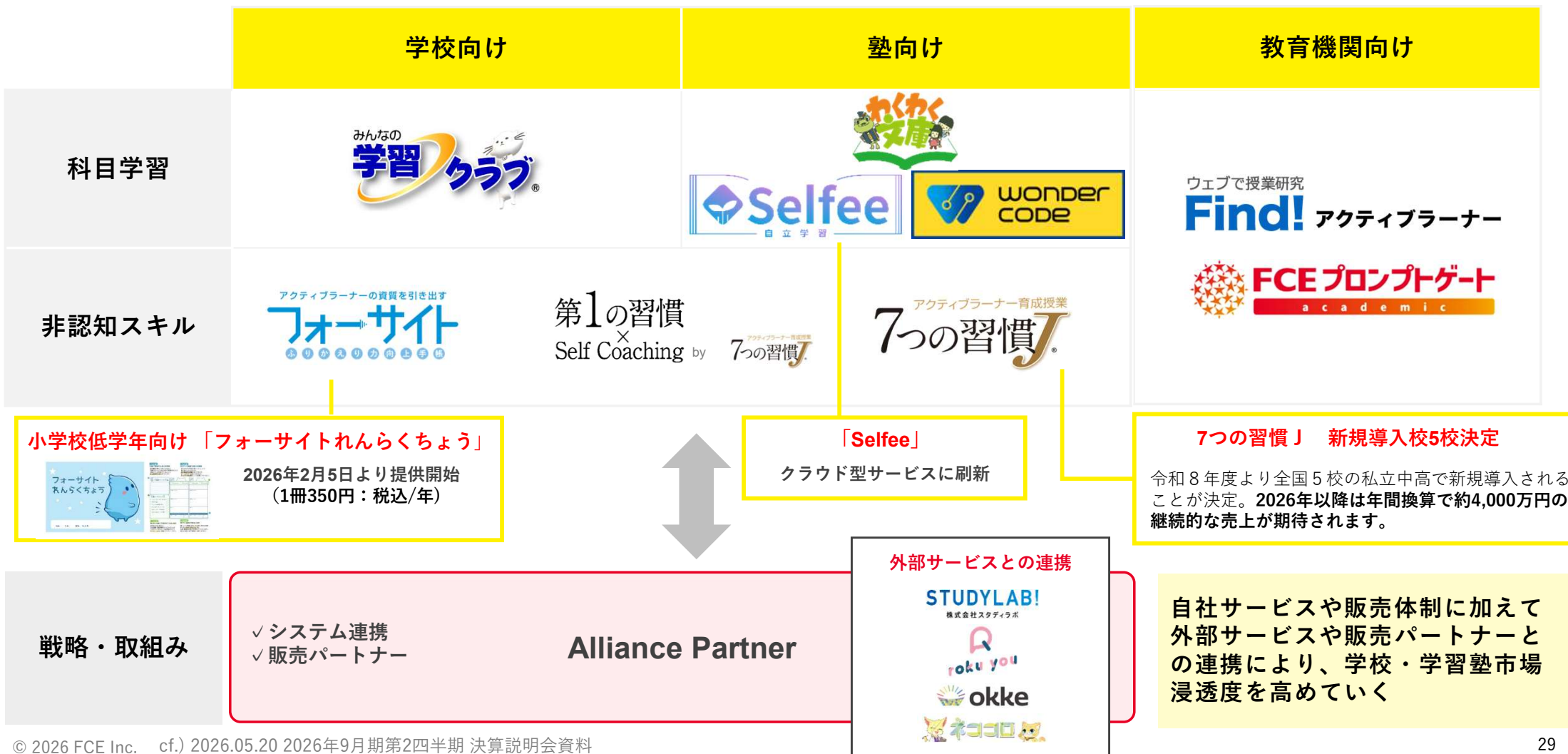


当社の「人財育成ノウハウ」「教育研修コンテンツ」とあしたのチーム社※2の「人事評価制度」ノウハウの融合を目指す

※2 株式会社あしたのチーム：ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社（証券コード：366A）の子会社。人事評価制度の構築・運用を支援する「あしたのチーム®」を展開する企業

リリース内容：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000428.000029370.html>

教育事業 | 概要



教育事業のトピックス”BUKATSU”

部活動マネジメントアセスメント (生徒向けアンケート/商品名「BUKATSU」) を 共同展開



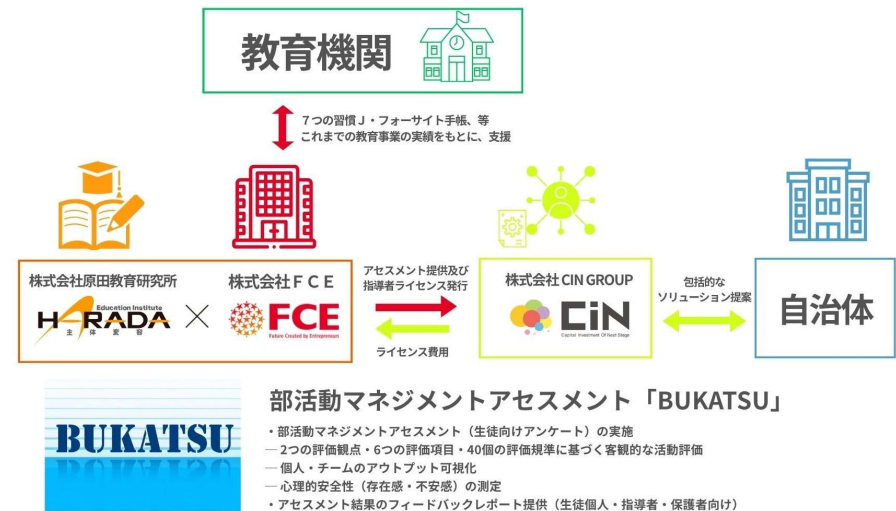
部活動の民間移行における「教育的価値」を支える

本サービスの提供を通じて、部活動が持つ本来の教育的価値を守り、生徒の人間的成長を最大化できる環境づくりを全国規模で推進し、早期の収益化を企図

リリース内容：

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/26f7e183/3c5a/470c/bcb4/0ddc0c73b44b/140120260701585845.pdf>

Update!! 株式会社CIN GROUPと基本業務提携を締結



CIN GROUPのリスティング教育の実績と行政連携ノウハウを活かし、部活動地域移行事業の現場における
「BUKATSU」の導入・運用を推進

リリース内容：

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/a82858e7/774a/4d21/834b/dcbecab0a2b5/140120260806511173.pdf>



Agenda

- 01 2026年9月期第3四半期（4月-6月）トピックス
- 02 2026年9月期第3四半期業績
- 03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業
- 04 事業および成長戦略：教育研修事業
- Appendix

FCEとは、

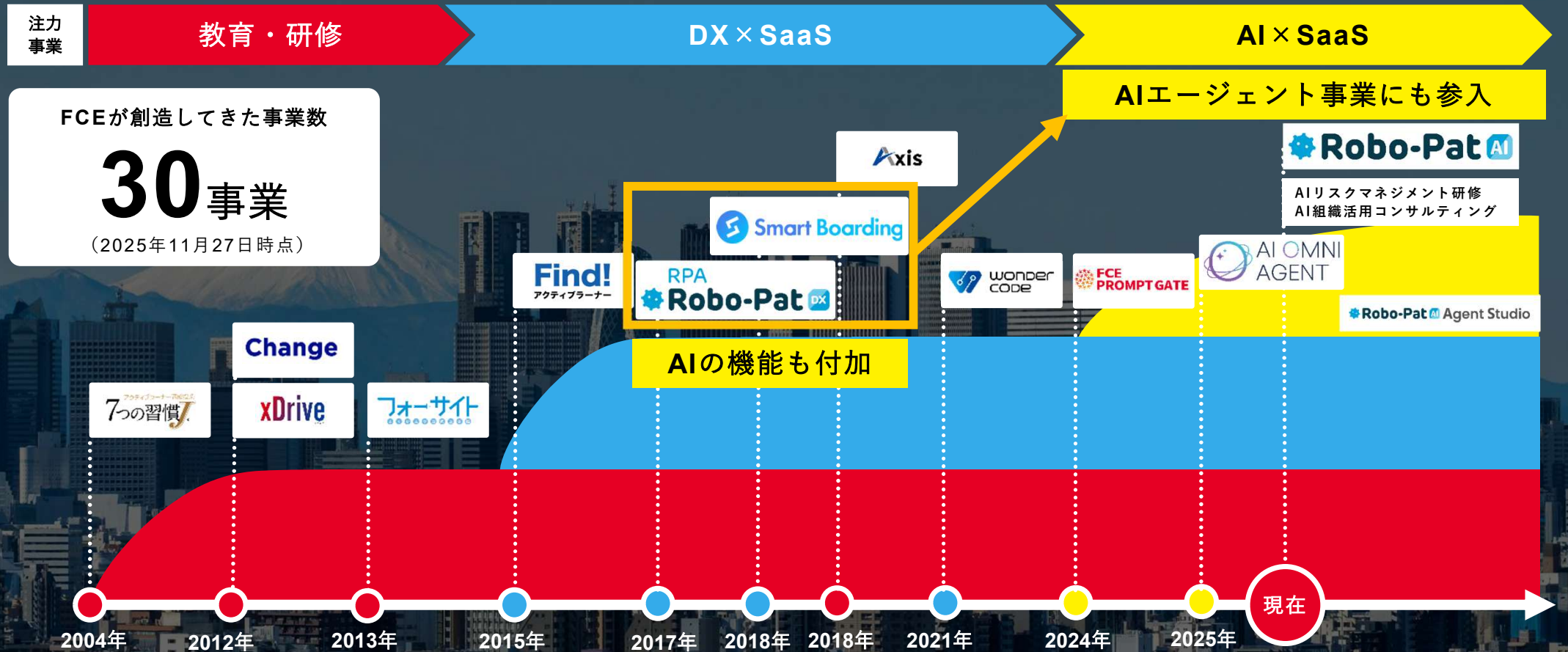
アントレプレナーファーム（企業家集団）

一人ひとりが「企て」と物事に挑む
「企業家マインド」をもって、
チャレンジあふれる未来を作り出す主体であり続ける

私たちが目指すのは「起」業家ではなく、「企」業家。
業を「起こす」のではなく、社会を変える大きな「企て」をもつこと。
そのために、一人ひとりが自ら機会を創り出す「New Business Creator」、
関わる方々の可能性を信じ、きっかけを提供する「Human Value Innovator」としての
覚悟を持ち続けます。

アントレプレナーファーム（企業家集団）としての歩み

FCEは、2004年に教育・研修事業に端を発し、時代の変遷に伴う事業環境の変化に適応
新規事業を連続的に立ち上げて業容を拡大

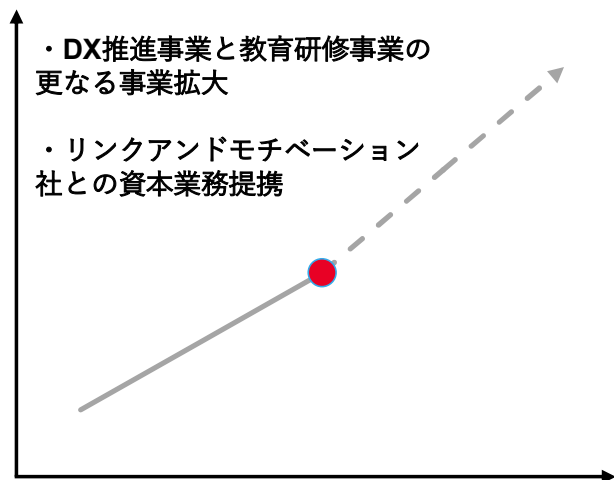


FCEの事業方針

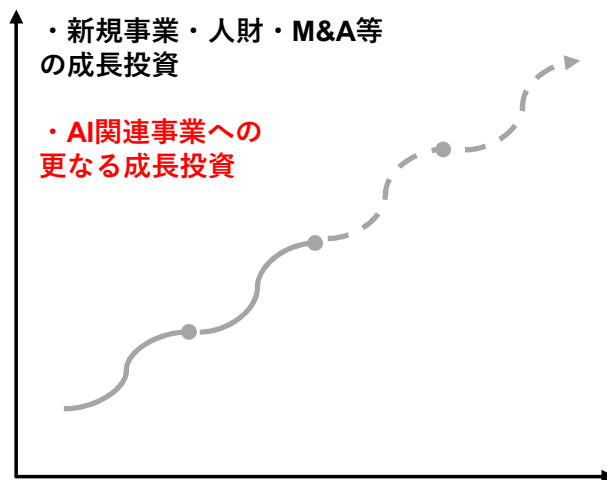
既存事業は引き続き、リンクアンドモチベーション社※との資本業務提携により更なる成長機会を企図。

各事業の成長戦略および成長投資により連結業績の向上、利益の安定的成長を目指します。

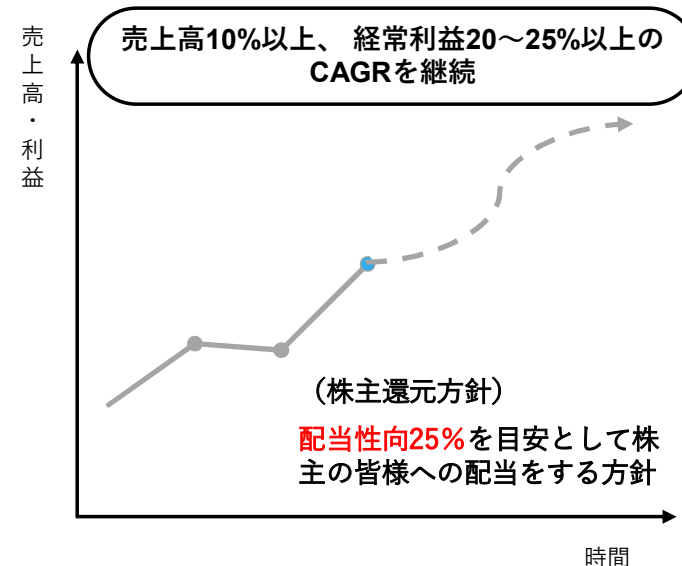
既存事業



成長投資



連結業績

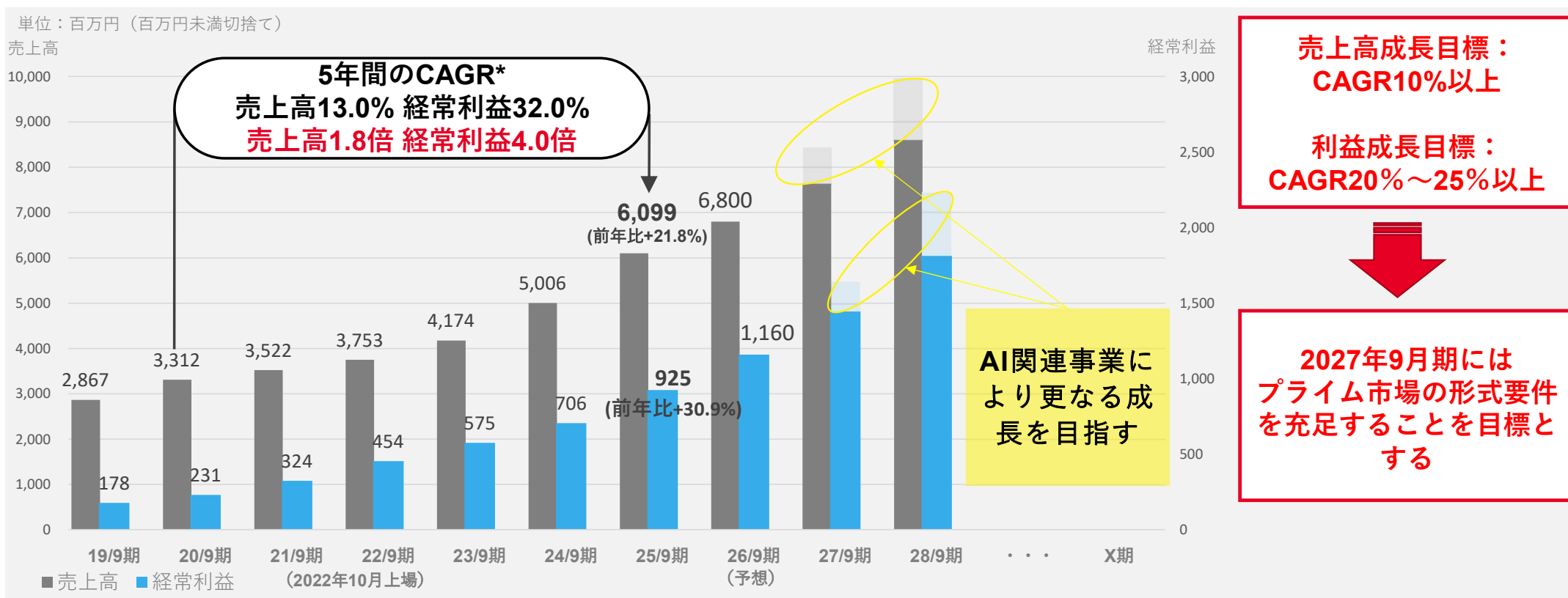


※：株式会社リンクアンドモチベーション（東京証券取引所プライム市場上場、証券コード：2170）モチベーションエンジニアリングによる企業変革コンサルティング・クラウドサービス、モチベーションマネジメント事業（育成・制度・風土変革支援）、エンタリーマネジメント事業（採用支援）、ベンチャー・インキュベーションを展開する企業です。



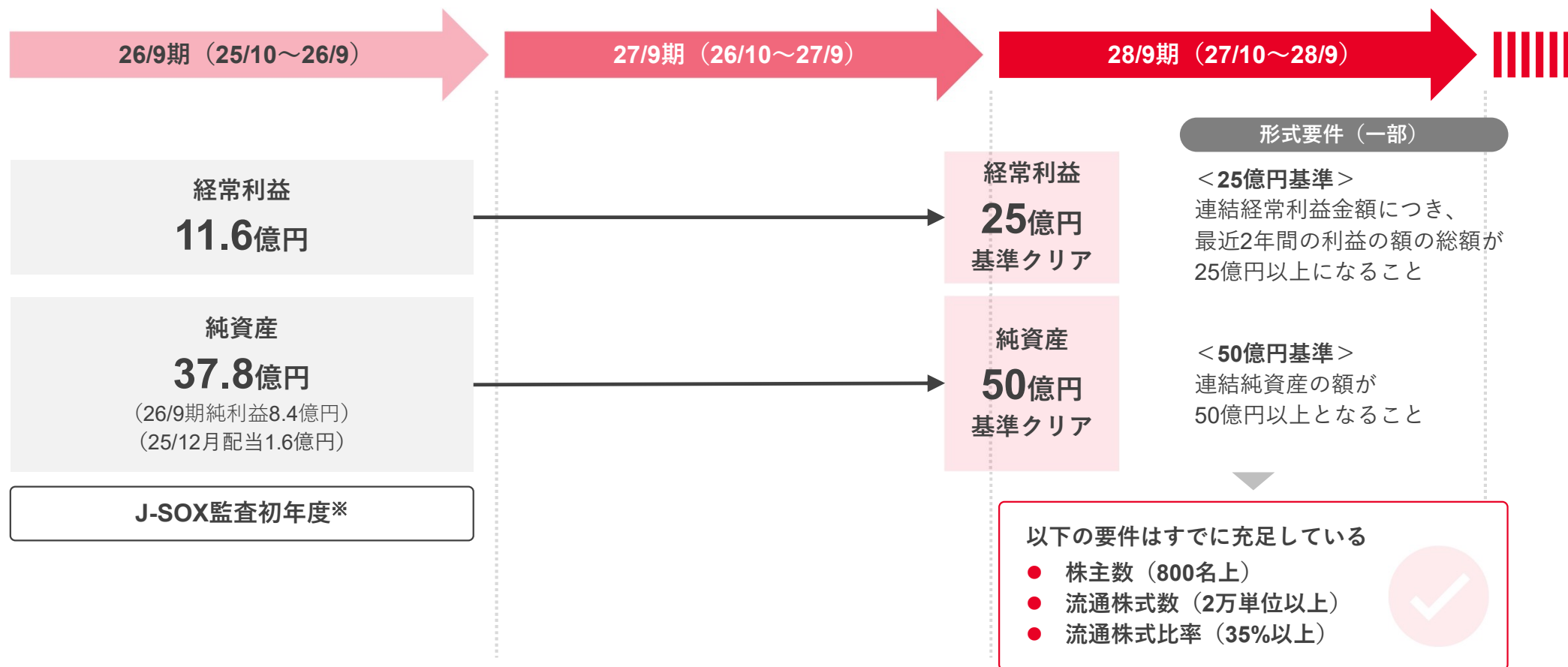
FCEの事業方針①

売上高・利益ともに過去より每期、継続的な成長を実現。今後も着実な成長を目指す。



FCEの事業方針②

プライム市場を視野に入れ、プライム市場の形式要件を27/9期で充足させることを目標とする。





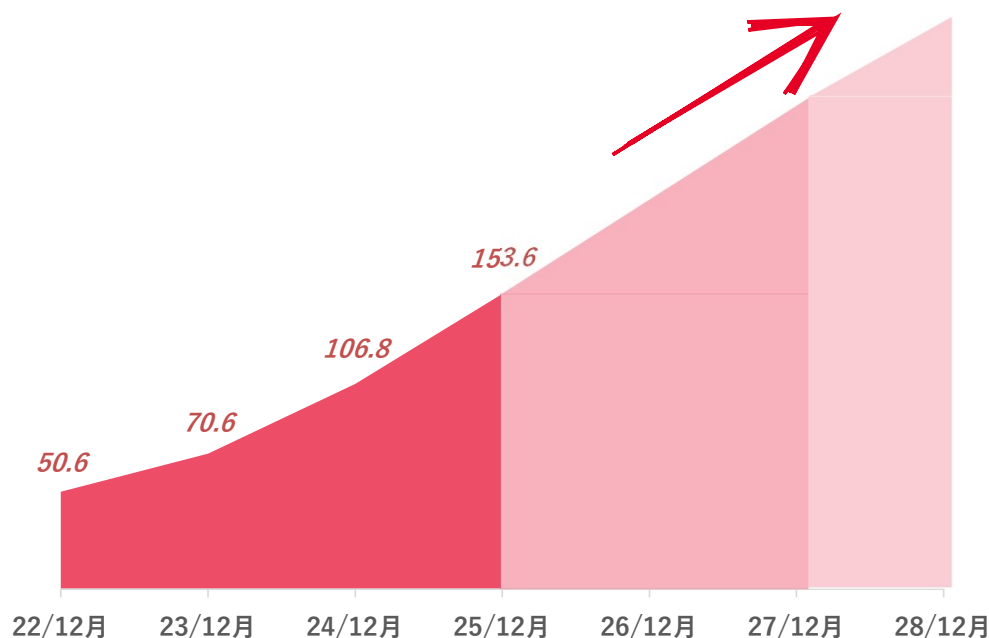
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について：今後の方針

ROE改善・資本コスト低減・期待成長率上昇で時価総額上昇を狙う。

時価総額推移と今後の目標

右記3つの観点に基づき時価総額上昇を図り、
27/12月を目途にプライム市場形式要件の充足を目指す。

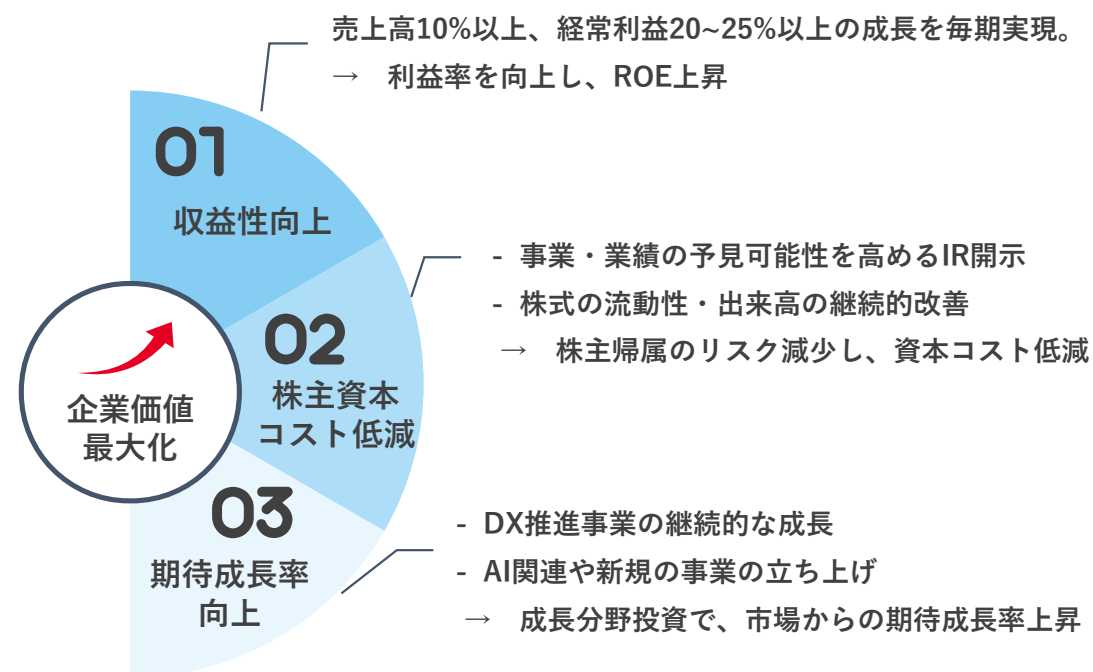
(単位：億円)



※上記数値は当社試算値であり、前提条件（成長率・割引率等）の変動でレンジは変動し得る。

© 2026 FCE Inc. cf.) 2026.2.12 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（更新）

目標達成に向けた方針



$$PBR = ROE \times PER \approx \frac{ROE}{Ke - g}$$

Ke：株主資本コスト g：期待成長率

FCEの事業方針（人財採用・育成）

事業拡大に伴い、新卒・中途共に積極的に採用中（2024年9月にオフィスも増床）
多くの育成プログラムにて成長できる環境を整備。引き続き、人財能力向上を企図。

■採用

・新卒10名採用（26年3月卒）

若手社員が活躍できる環境が整い、
新卒中心とした採用を実施

・中途採用

事業拡大に伴い各事業部門にて人財募集中

※社員の20代比率：

19%(20年9月末)→**32%**(25年9月末)



■育成

成長コンセプトは「3年で10年分の成長をせよ」
多くの育成プログラムや環境を提供

- ・ Value講話研修
- ・ Smart Boarding コース学習
- ・ 生産性向上運動
- ・ コンサルティング営業研修
- ・ 次世代幹部育成研修 等





バランスシートの概況

単位：百万円	2025年9月末	2025年12月末	2026年3月末	2026年6月末	増減 (前年度末25/9比)
現金及び預金	3,175	2,803	2,803	3,525	+350
その他流動資産	761	797	1,014	866	+104
流動資産合計	3,936	3,600	3,817	4,391	+454
固定資産合計	1,790	1,853	1,918	1,813	+22
資産合計	5,727	5,453	5,735	6,204	+477
負債合計	1,928	1,572	1,516	1,753	△174
株主資本	3,896	3,967	4,277	4,536	+639
その他純資産項目	△97	△85	△59	△85	+12
純資産合計	3,799	3,881	4,218	4,451	+652
負債純資産合計	5,727	5,453	5,735	6,204	+477
自己資本比率	66.3%	71.2%	73.5%	71.7%	+5.4%pts

売掛金回収や前受収益の増加により、現金及び預金は+350百万円

売掛金+71百万円
学校の新年度に伴うFS手帳や教材関連の販売による増加

ソフトウェア+46百万円
投資有価証券△26百万円など

契約負債 +103百万円
賞与引当金 △183百万円
未払費用△69百万円など

純利益+633百万円
その他有価証券評価差額金+12百万円など



「ロボパットAI」の外部評価

RPAロボパットDXが『最強ITツール』として
過去3年連続5位以内にランクイン

2023年 **第1位**
(約7,300 製品中)

2024年 **第2位** を獲得!
(約10,000 製品中)

2022年 **第4位**
(約5,000 製品中)

ITreview
Best Software
in Japan 2024
★ TOP 50 ★

ITreview Best Software in Japan 「ビジネスパーソンから最も支持を集めたツール」

『最強ITツール』過去3年連続 5位以内

レビューサイト「ITreview」

ITreview Best Software in Japan 2024、ITreview Best Software in Japan 2023、
ITreview Best Software in Japan 2022 より

「ITreview The Best Software in Japan」を
5年連続受賞
RPAツール部門**1位**を獲得!

ITreview
Best Software
2026
RPA ツール
★ TOP 100 ★

ITreview
Best Software
2026
★ TOP 100 ★

FCE Robo-Pat AI

ユーザーレビューより最も支持された製品を表彰する

「ITreview The Best Software in Japan 2026」にて

RPAツール部門 第1位

レビューサイト「ITreview」

<https://www.itreview.jp/best-software-categories/2026/system-operation>



IR information



本説明資料やその他IRに関するご意見やご質問は、
メール・IRお問い合わせフォーム・IR公式 X (Twitter) より
お問い合わせください。

ir@fce-hd.co.jp



コーポレートサイトでは、決算説明資料・Q & Aの採録他、
アナリストレポート等もご覧いただけます。

<https://fce-hd.co.jp/ir/>



公式の X (Twitter) では適宜情報発信をしています。

https://x.com/fce_ir



本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社及び当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。